

公表

第62回技能五輪全国大会「配管」職種 競技実施要領

1. 一般的注意事項

- (1) 集合時間 競技下見日：午前8時30分（時間厳守のこと）。
競技日：午前8時00分（ 〃 ）。
- (2) 競技当日、選手は集合時間（午前8時00分）まで、プラチーン内の各自の競技場所（ブース）内に入ることができない。
- (3) 競技日の集合時間より、2時間以上遅刻した場合は、失格とする。
- (4) 競技中は、競技委員、運営委員及び競技補佐員の指示に従うこと。
- (5) 競技課題図等は、競技日に配布されたものを使用すること。
- (6) 持参工具等の取扱説明書、メモなどの紙類の持ち込みは、記載の有無にかかわらず、一切不可とする。
- (7) 持参工具の工具展開は、選手のみが行うこと。
持参工具の工具展開に伴う運搬時に、付添者の補助は認めるが、工具の組立て等の設置は、選手が行うこと。付添者の競技場所（ブース）立入を禁止する。
- (8) 工具展開後の工具箱は、指示された所定の工具箱保管場所に置くこと。
- (9) 付添者は所定の場所で見学し、競技中の選手との会話、指示等は禁止する。これらの行為を行った場合には、不正行為とみなし、採点対象外又は不正の程度により1点～10点の減点とする。また、競技に関する質問等は、選手本人のみとする。
- (10) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機器の競技場所（ブース）への持込は、不可とする。
- (11) 競技時間中の水分補給のため、蓋付の水筒及びペットボトル等の持ち込みは、認める。
- (12) ゼッケンは、競技下見日の退出時に昼食・休憩エリアの自席に置いて退席すること。
- (13) 充電したバッテリー等の工具、ペットボトル等の飲み物など、競技当日に持ち込むものは、競技委員が確認するので、集合時に全て机の上に置くこと。
- (14) マスクの着用は、個人の判断によるものとする。

2. 支給材料・課題・持参工具等について

- (1) 競技下見日は、「材料確認」の後「工具展開」を行うため、時間を別々に設定している。(運営委員から説明、指示がある。)
- (2) 競技下見日集合時には、材料確認を行うため、スケール・筆記用具を持参して集合すること。
- (3) 競技下見日に配布される材料表(継手を除く)をもとに、支給材料の数量・管長確認のみを行い、確認後は工具展開時に各自の工具棚等に自由に収納して構わない。また、数量・管長について競技開始後の異議は認めない。なお、競技に不要な段ボール、ビニール袋、耐火レンガ、手桶は競技場所(ブース)の外に置くこと(競技補佐員が回収する)。
- (4) 支給材料の分解、支持金具類のナットの調整、水栓、トラップ器具・部品の仮組、寸法取り等の作業とみなされる行為は禁止する(減点の対象となる)。
- (5) 「支給材料の不良品」があった場合は、申し出ること。
- (6) 競技日の競技開始前に配布される材料表(継手を含む)をもとに、継手の材料確認時間を設ける。確認後は各自の工具棚等に自由に収納して構わない。また、継手確認後に、その他の材料確認を行ってもよい。なお、競技に不要な段ボール、ビニール袋等は競技場所(ブース)の外に置くこと(競技補佐員が回収する)。
- (7) 合板(原寸図作成用)は、競技日に支給する。
- (8) 競技日に配布された課題等は、競技が終了するまで競技場所(ブース)から持出禁止とする。
- (9) 競技で使用する水は、競技下見日に用意し、競技日は選手による補給のみとすること(会場にバケツの準備がある)。
- (10) 競技開始後は、工具等の貸し借りは認めない。
- (11) 持参工具・接合材料等は、課題製作に必要なもので、適正かつ安全なものとする。また、持参工具等一覧表は参考とし、適切な工具を選択して使用することも競技の一環とする。
- (12) 競技下見日の工具展開終了後は、新たな工具類は持ち込めない(充電式ドライバ・充電式作業灯の電池を除く)。競技開始後、競技場所(ブース)内に持参工具を持ち込む場合は、申告制とする。但し、減点の対象となる。
- (13) 当日課題について、公表課題より数か所の変更を行う。また、公表課題以外の管材(管種)には変更しないが、管材(管径)は変更する可能性があるため、各管種の13A・15A・20Aに対応できるように、また、排水は40A~75Aに対応できるように予め準備しておくこと。

(14) 持参工具の中で、型取りや採寸等の事前加工した治具、及び競技材料と混同しやすい材料の持ち込みは不可とする。これに該当するかどうかは、競技下見日に競技委員による協議において判断する。

(15) **持参工具・接合材料等について、以下の点に注意すること。**

- ① ガス用トーチランプは、カートリッジ1本とする。
- ② パイプ万力の脚部安定用の金具等は、使用しても良い。但し、競技場所の床への直接固定は出来ない。
- ③ 電動工具類は「充電式ドライバ・作業灯（電池式又は充電式）のみ使用可とする。他のものは持込不可とする。また、会場での充電はできない。
- ④ 治具、型板及び原寸図は、競技時間中に作成すること。
- ⑤ 塩ビ管接着剤は、管種に合わせて無色透明のものとする。

また、次の点に注意すること。

・給水配管の硬質塩化ビニル管（HI 透明継手及びTS 継手）に使用する接着剤はHI 用透明接着剤を使用すること。

・排水配管の硬質塩化ビニル管に使用する接着剤は一般用透明接着剤又はHI 用透明接着剤を使用すること。

- ⑥ シールテープと液状シール材との併用はできない。
- ⑦ 水圧テスト器（手動式）は、公開水圧審査時に使用するので必ず持参すること。仕様はGV15A への接続用継手を含み、ゲージの最高目盛りは、2.5MP a 以下とし、圧力計の径は75φ以上とする。
- ⑧ ねじ切り用切削油の油受けとして、新聞紙等の燃えやすいものは使用しないこと。
- ⑨ 水容器を持参してもよいが、指定された競技場所（ブース）内で使用すること。
- ⑩ 会場には「耐火レンガ」「バケツ」「合板（原寸図作成用）：約910mm×910mm×4mm」の準備がある。

*第61回大会（2023年）より「耐火板」の配布を取りやめた。

- ⑪ 必要に応じ、課題作成に適した踏み台を持参してもよい。なお、「課題作成に適した踏み台」とは、下記の要件を満たすものとする。
 - ・強度 自重を支えるために十分な強度があるもの
 - ・昇降 安全に昇降できるもの
 - ・姿勢 安定した姿勢で作業ができるもの
 - ・天板 安全に作業ができる広さの天板を有するもの
- ⑫ 各自作業用の時計を持参し、時間管理を行うこと。また、基準となる時計は会場で指示する。
- ⑬ 認められない工具棚の事例は、次頁の写真の通りとする。



支給材料と混同しやすい材料を
工具収納として使用している。

公表	第62回技能五輪全国大会「配管」職種 持参工具等一覧表	
注) 下記はあくまで参考です。各自適切かつ安全な工具等を選定し持参してください。		
区分	品名	
工 具 類	ハンマ	木づち、金づち、プラスチック
	やすり	銅管用、銅管用
	面取り器	
	のこ	ビニル管用のこ、銅管用金切りのこ(弓のこ)
	銅管カッタ	
	塩ビ管カッタ	
	鋼管カッタ	
	樹脂管カッタ	
	はさみ	
	トーチランプ	ガス用に限定する
	サイジングツール	銅管用
	レンチ類	モンキーレンチ、ラチェットレンチ(立てバンド取付け用)、モータレンチ、スパナ
	プライヤ	
	パイプ万力	
	手動式パイプねじ切り器	JIS管用テーパねじ用(カセット型も可)、SGP15A~20A用
	パイプレンチ	
	立水栓取付レンチ	
	油さし	
	ドライバ	充電式可
	きり	
銅管用研磨ブラシ	サンドペーパー・内外両面ブラシ	
工具棚		
踏み台	必要に応じ持参すること。	

その他		
鋼管材 (用) ・ 塩ビ管	銅管用はんだ	
	フラックス	銅管はんだ用
	塩ビ管接着剤	塩ビ管接続用
	シールテープ	シールテープと液状シール材の同一箇所での併用はできない。
	液状シール材	
測定具 他	墨つぼ	チョーク墨も含む。
	定規	直・曲尺、巻尺、折り尺、ノギス等
	スケール	
	製図用具	
	水平器・勾配器	
	水圧テスト器(手動式)	ゲージの最高目盛りは2.5MPa以下、圧力計の径は75φ以上とする。
その他	筆記用具	原寸図作成用
	石筆・チョーク	
	着火用ライター等	
	霧吹き	
	防炎シート	
	小ほうき	ちりとり共
	ウエス	
	作業灯	電池式又は充電式
	時計	作業時間管理用

3. 競技について

- (1) 競技場所(ブース)は、競技下見日に抽選で決定する。
- (2) 競技は、競技時間割に基づき実施する。
- (3) 競技開始時間前には、各自の競技場所(ブース)の前で待機していること。
- (4) 競技の開始及び終了は、ホイッスル(エアーホーン等)と場内アナウンスにて行う。
- (5) 競技時間は、競技主査の時計を基準とし、会場内の設営時計は補助的なものとする。
- (6) 標準時間 : 6時間10分(15:55)
- (7) 打切時間 : 7時間(16:45)
- (8) 昼食時間 : 55分(11:25~12:20)
- (9) 休憩時間 : 午前1回10分(10:00~10:10)
: 午後1回10分(13:55~14:05)
- (10) 競技中のトイレ使用は、手を挙げて申告する。
但し、このロスした時間は、競技時間を含むものとする。

- (11) 製作の間違い等により材料の再支給及び補充を受ける場合は、手を挙げて競技委員に申告する。但し、減点の対象となる。
- (12) 競技開始後に持参工具を競技エリア内に持ち込む場合は、申告制とする。但し、減点の対象となる。
- (13) 作品取付壁床に記載の墨等は採点の対象としない。
- (14) 完成の意思表示は、完成の確認をしてから、手を挙げて競技委員又は競技補佐員に必ず申告する。
水圧テスト器は、作品に接続したままとしておくこと。但し、水圧を下げて、水は抜かないこと。
- (15) 完成の申告をした者は、直ちにプラチェーンの外（見学者エリア）又は自席で待機する。
- (16) 全選手競技終了後、公開水圧審査を実施する。各自競技場所（ブース）に戻り、選手立会いのもと競技委員が水圧審査を実施する。
水圧審査の前に、運営委員の指示に従い、選手は競技委員等4名が入れる位のスペースを確保するため、後片付けを行う。
水圧審査は、水圧が0.3MPaまで昇圧したら止水栓を閉じ、水栓類の漏水の有無を確認する。
引き続き水圧0.75MPaまで昇圧したら2分間保持し、漏水の有無を確認する（審査に係る作業は全て競技委員・競技補佐員が行う）。

4. 安全事項

- (1) 競技下見日・競技日は、安全を最優先して作業をすること。
- (2) 競技下見日・競技日は、作業に適した清潔な作業服・作業帽（ヘルメットも可）・作業靴・作業手袋を正しく着用すること。また、くるぶしが出ないソックスを着用すること。
- (3) ゼッケンナンバーは、後片付け終了まで着用すること（競技下見日に持ち帰らないこと。競技終了後は、持ち帰り可）。
- (4) 火気作業時は、手袋を着用すること。また、防災シートや火気の始末等の安全対策を適切に行うこと。
- (5) 壁取り付け部について、火気を使用する場合は、防災シート等を用意し、養生を行うこと。
- (6) ガス用トーチランプは、カートリッジ1本とする。
- (7) ガスカートリッジの取り扱いには十分注意し、着火状態で他の作業を行わないこと。
- (8) 競技下見日の着火テストは認めるが、競技開始まではバーナー部とカートリッジ部は取り外した状態にすること。

- (9) 塩ビ管接着剤の蓋が開口している状態で火気を使用しないこと。
また、塩ビ管作業中以外や競技ブースを離れる際には蓋を閉めること。
- (10) ねじ切り用切削油の油受けとして、新聞紙等の燃えやすいものは使用しないこと。
- (11) 各ブースの壁や床、配管は、墨出し用の墨を除いて汚さないこと。
- (12) 休憩時や昼食前には、競技場所（ブース）内の片づけを適切に行うこと。
- (13) 休憩時や昼食時には、万力に材料をつけたままや万力を開いた状態にしないこと。

5. 採点要領

完成作品の採点にあたっては、次に示す採点要領を適用する。

(1) 採点項目と配点

採 点 項 目	配点 (点)
作品採点 (寸法精度)	5 8
〃 (出来ばえ)	2 4
水 圧 審 査 採 点	1 0
作 業 時 間 採 点	5
作 業 態 度 採 点	3
合 計	1 0 0

(2) 減点 (③～⑥は、競技委員全員の合議による)

- ① 競技時間内における材料の再支給及び補充は、1個につき10点の減点とする。
- ② 競技開始後、競技場所（ブース）内に持参工具を持ち込む場合は、申告制とする。但し、減点の対象となる。
- ③ 誤作は、その状況に応じた減点とする。
- ④ 競技中の作業態度は、不安全・不適正作業の状況により減点とする。
- ⑤ 他人を負傷させた場合は、その状況により失格とする。
- ⑥ 本人が負傷した場合は、その状況により減点、又は失格とする。

(3) 未完成

下記の場合は、未完成とみなし、0点とする。

- ① 打切時間内で完成の自己申告がなされない場合。
- ② 水圧テスト器が作品に接続されていない場合。
- ③ 給水・給湯系統が未完成なもの。

6. 競技時間割

競技下見日

11月22日(金)

時刻 (時:分~時:分)	所要時間 (時.分)	摘 要
8:30		選手集合、受付 *材料確認を行うため、スケール・筆記用具を持参して集合すること
8:30~ 9:15	0.45	競技場所の抽選、競技説明、質疑応答等
9:15~ 9:35	0.20	支給材料確認(継手以外の材料)
9:35~10:45	1.10	工具展開
10:45~11:45	1.00	質疑応答、参加証授与、資料・弁当配布等
11:45(予定)		解散

競技日

11月23日(土)

時刻 (時:分~時:分)	所要時間 (時.分)	摘 要
8:00~ 8:10	0.10	選手集合、受付
8:10~ 8:30	0.20	競技課題配布、支給材料確認(継手を含む全ての材料)、競技準備
8:30~10:00	1.30	競 技
10:00~10:10	0.10	休 憩
10:10~11:25	1.15	競 技
11:25~12:20	0.55	昼 食
12:20~13:55	1.35	競 技
13:55~14:05	0.10	休 憩
14:05~15:55	1.50	競 技(標準時間 6.10)
15:55~16:45	0.50	競 技(打切時間 7.00)
16:45~17:00	0.15	工具、材料等の整理及び水圧審査準備
17:00~(予定)		公開水圧審査